



目標は、
父に追いつき、
追い越すこと。

米農家 中山北斗

テコンドーでオリンピックを目指していた青年が、米のオリンピックで金賞を取った。初めて収穫した新種“ぴかまる”が、「第18回 米・食味分析鑑定コンクール 国際総合部門」で、5,400品の米の頂点に輝いたのだ。「テコンドー以外で、初めてホメられました」。🔥米作りは、一から父に学んだ。「厳しい環境の阿蘇で露地栽培をすると、苗が枯れてしまうこともあるが、生き残った苗はより強い子孫を残す」という教えに従い、刈り取りまで完全自然農法で育



ギネスの「世界最高米」にも選ばれた。

てた処女作。草取りやあぜ切りなど、手間は半端なくかかっている。模索しながらも、いま、農業という自然相手の格闘技に夢中である。🔥金賞を取

て、“ぴかまる”の認知度は急上昇。阿蘇駅前の道の駅では、2kg7,000円で販売。海外からの観光客には人気の日本みやげとなった。次の課題は、安定供給だ。梅雨や台風、高温などの影響は大きく、毎年条件は変わってくる。それでも、「大切なのは、勉強・実験・愛情・努力」という父の哲学を継いで、手をかけ工夫を凝らして実りの季節を迎える。🔥時間があれば、父譲りのハーレーでツーリングに出る。趣味も米作りも、全力疾走だ。

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
A s o C i t y